

## 中野区橋梁長寿命化修繕計画の改定（案）について

平成25年度に策定した「中野区橋梁長寿命化修繕計画（以下「本計画」という。）」では、これまでの「傷みが大きくなってから治す」という事後保全的な維持管理から、「傷みが軽微な段階で治す」という予防保全的な維持管理へ体制を転換し、予防的なメンテナンスの充実によって、「いまある橋梁をより大事に使う」ことで延命化し、コストの縮減と予算の平準化を図ることで、利用者の安全性・信頼性を確保することを目的として橋梁の修繕工事を進めてきた。

令和5年度をもって本計画に基づく修繕工事が一巡することから、今年度は本計画の改定案について取りまとめたので、次のとおり報告する。

### 1 改定における前回計画との主な変更点

#### （1）健全度の判定区分

平成25年度に本計画を策定した際は、東京都建設局の点検要領に基づき橋梁の点検を行ったが、今回の改定案では、より詳細な状態把握が可能となる国土交通省道路局の点検要領に基づき、健全度の判定を行った。

判定区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置をすべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

#### （2）橋梁の維持管理方針

平成25年度に本計画を策定した際に、橋梁毎の特徴に応じて維持管理方針を4つに分類し、めりはりのある維持管理を行ってきた。その結果、現在では橋梁の修繕が進み、多くの橋梁で健全度が良好な状態となった。

このような現状を踏まえ、今後は架け替えを予定している橋梁を除くすべての橋梁で予防保全型管理を行い、常に健全な状態を保つ維持管理を行う。

現計画		改定案
予防保全型（損傷が軽微な段階で修繕）	→	予防保全型
事後保全型（ある程度の損傷は許容）		事後保全型
経過観察型（架け替えまで経過観察）		
個別管理型（個別に対応）		

### （3）新技術の活用方針

橋梁の点検における新技術の活用を定めた。次回の計画改定までに、小型ドローン等の新技術を活用し、点検の効率化及び費用縮減を目指す。

## 2 添付資料

中野区橋梁長寿命化修繕計画（改定案）

## 3 今後の予定

令和5年度中 国土交通省へ本計画の改定版を提出

区ホームページへ公表

令和6年度以降 本計画の改定版に基づく修繕工事の実施



写真：東中野西口跨線橋  
(東中野駅西口)  
※平成27年竣工

# 中野区橋梁長寿命化修繕計画 (改定案)



写真：中野新橋(神田川)  
※平成23年竣工



写真：東西連絡路(中野駅北口)  
※平成24年竣工

令和5年3月

中 野 区

## 目 次

1	背景と目的	1
2	計画対象橋梁の現況	2
3	橋梁の維持管理に関する全体方針	6
4	長寿命化修繕計画に関する基本方針	7
5	長寿命化修繕計画の効果	11
6	個別の構造物ごとの計画	12
7	区民の皆さまへのお願い	14
8	学識経験者からの意見聴取	14

## 1 背景と目的

### (1) 長寿命化修繕計画とは

中野区が管理する橋梁は、戦後の高度経済成長期（1954～1973年）に集中して建設されました。これまでは、主に東京都による都市型水害対策としての河川改修事業など、都市環境に求められる機能の確保を目的として順次架け替えが行われてきました。つまり、橋梁の老朽化による橋梁本来の寿命を迎える前に架け替えが行われてきたことになります。

しかし、河川改修事業等による都市機能の充実とともに、近年は管理橋梁全体に影響する大規模な都市環境変化はなく、現在、これまでにない橋梁の高齢化（建設から50年以上が経過）が進んでいます。

橋梁の老朽化に伴う大規模修繕または架け替え等が集中すると、工事に伴う通行規制などによる社会生活への影響や、膨大な費用負担の必要性といった問題が一時期に集中してしまう可能性が懸念されます。

本計画では、上記の問題への取り組みとして平成25年度に策定した「中野区橋梁長寿命化修繕計画」の実施状況を踏まえ、計画の改定を行い、これまでの「傷みが大きくなってから治す」という事後保全的な維持管理から、「傷みが軽微な段階で治す」という予防保全的な維持管理へ体制を転換し、予防的なメンテナンスの充実によって、「いまある橋梁をより大事に使う」ことで延命化し、コストの縮減を図ることで、利用者の安全性・信頼性を確保することを目的とするものです。

### (2) 長寿命化修繕計画の対象範囲

中野区が管理する道路橋104橋を対象に橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

表-1 計画策定橋梁数

全管理橋梁	104橋
15m以上の橋梁	18橋
15m未満の橋梁	86橋

## 2 計画対象橋梁の現況

### (1) 対象橋梁の特徴

#### ア 架設年次の特徴

計画対象橋梁の全 104 橋は、高度経済成長期（1954～1973 年）に多く建設されました。河川改修事業に伴って架け替えられたもの以外の橋梁は、橋梁の一般的な耐用年数といわれている供用年数 50 年を超えはじめ、今後ますます老朽化が進んでいきます。老朽化することで橋梁の傷みも進行し、維持管理費の増加が懸念されます。

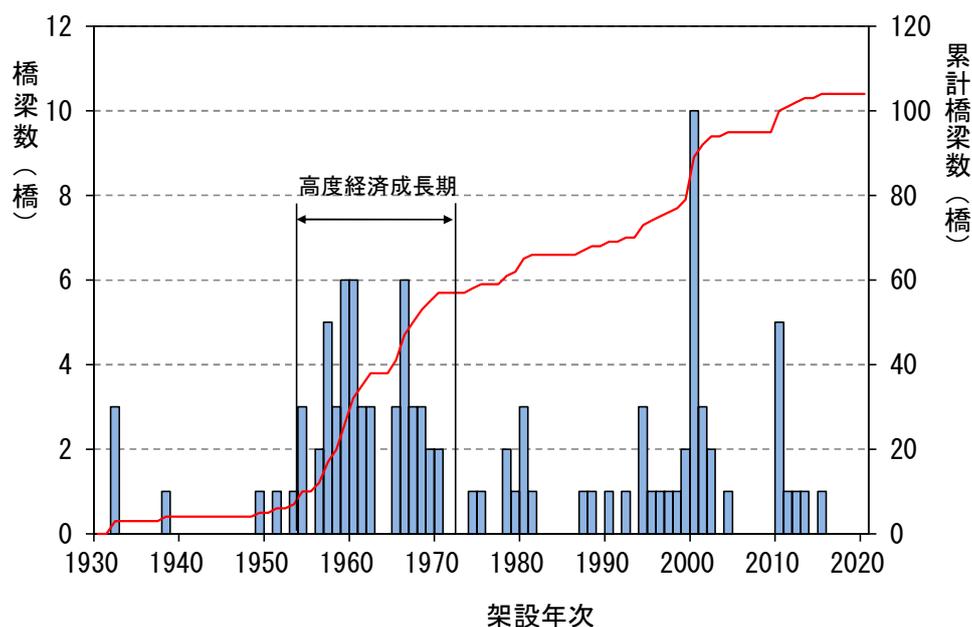


図-1 架設年次別橋梁数

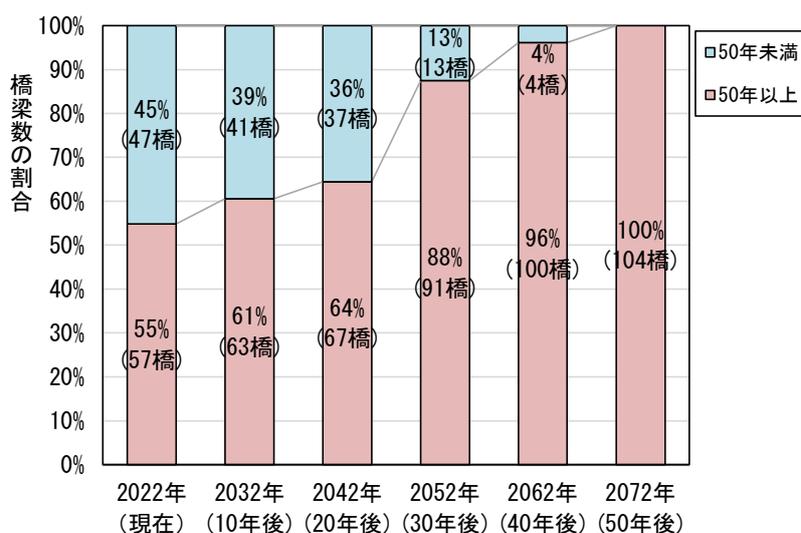


図-2 建設から50年が経過した橋梁数の推移

### イ 橋種、橋長別の特徴

橋種別では、PC橋の割合が69橋（66%）と最も多く、次いで鋼橋の割合が21橋（20%）、RC橋、BOXカルバートの割合は、それぞれ約1割以下となっています。橋長2mから10m未満の小規模橋では、BOXカルバート及びPC橋が多く、橋長10mから50m未満ではPC橋及び鋼橋が幅広く架設されています。

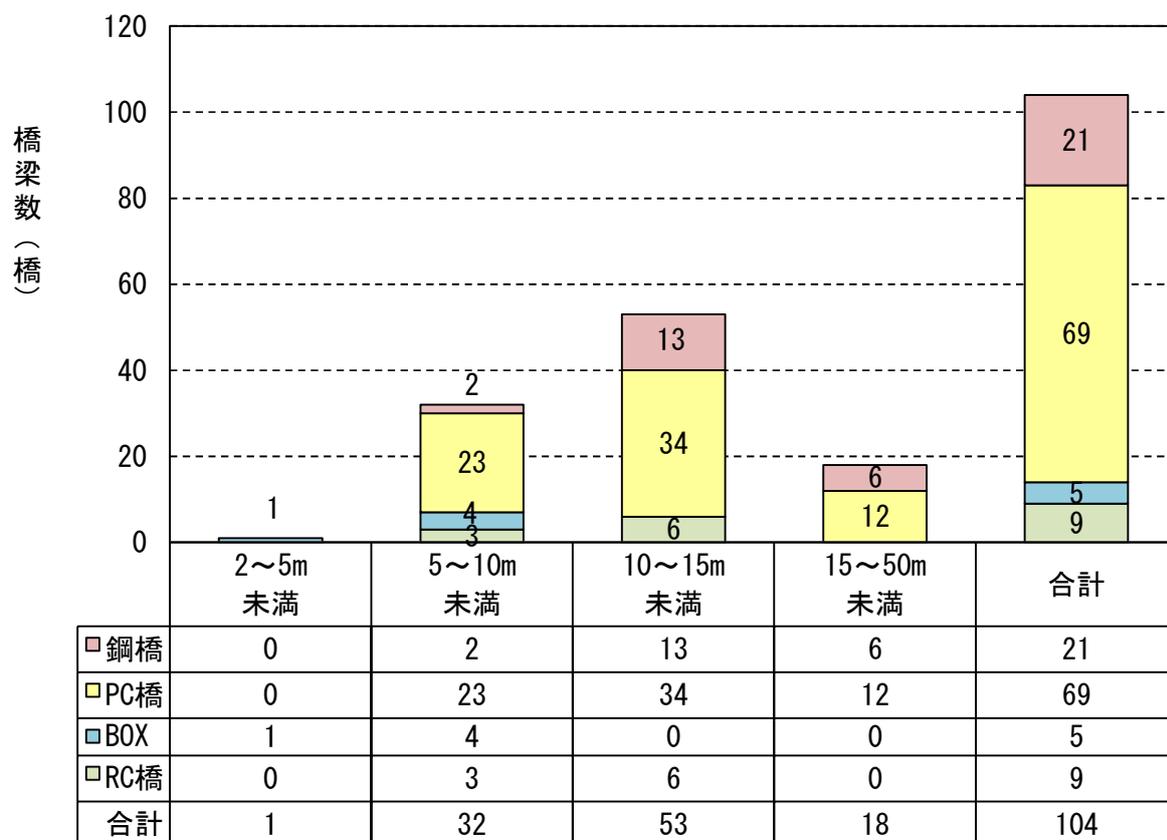
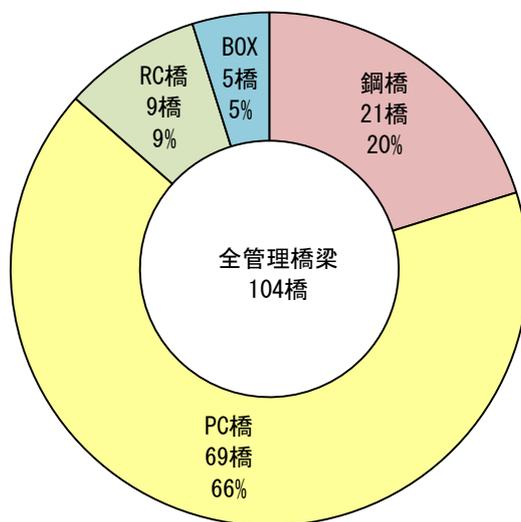
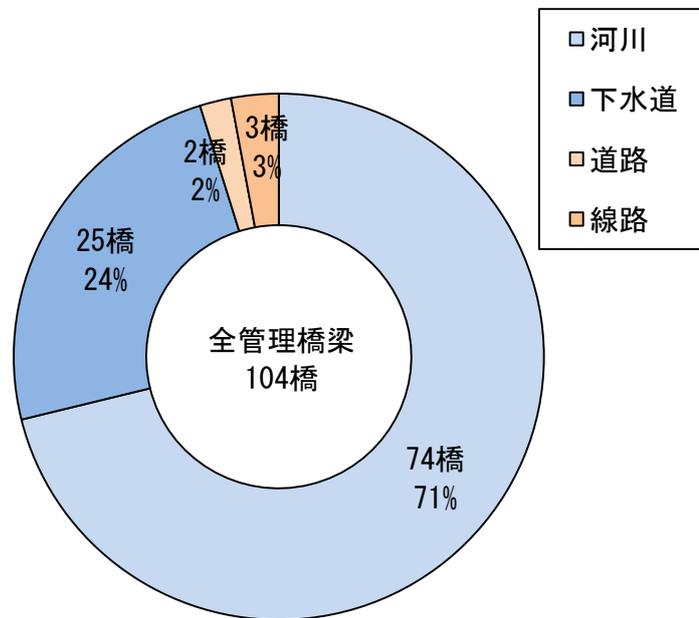


図-3 橋種、橋長別内訳

## ウ 交差条件の特徴

交差条件（河川、線路、道路等）に着目した場合、全体の7割以上が河川を跨ぐ橋（河川橋）となっています。河川橋のほかには、下水道を跨ぐ橋（下水道橋）が25橋、J Rの線路を跨ぐ橋（跨線橋）が3橋、中野通りなどの道路を跨ぐ橋（跨道橋）が2橋あります。



河川橋（河川を跨ぐ橋）



下水道橋（下水道を跨ぐ橋）



跨線橋（線路を跨ぐ橋）



跨道橋（道路を跨ぐ橋）

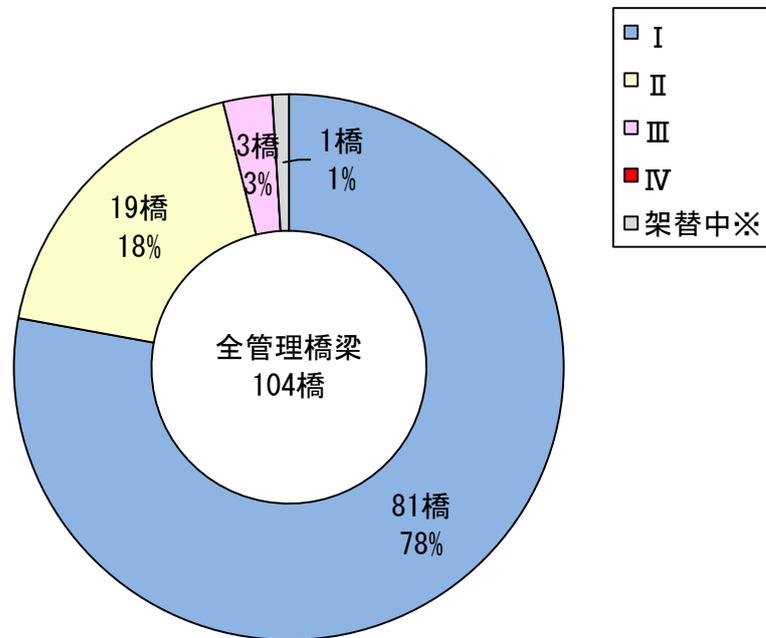


図-4 交差条件別内訳

## (2) 対象橋梁の現況

### ア 管理橋梁の判定区分

法定点検における橋梁の判定区分は、全橋のうち、「早期に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ）」の橋梁は3橋が該当しており、これらの橋梁については優先的に修繕工事を実施していきます。



※丸山橋は架替事業中であるため、未点検

図-5 判定区分別でみた橋梁数の割合

表-2 橋梁及び部材単位の判定区分

判定区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出典：道路橋定期点検要領（国土交通省 道路局、平成31年2月改定）

### 3 橋梁の維持管理に関する全体方針

橋梁を長寿命化するための効果的な維持管理体制として、今後の維持管理に関する全体方針（全体像）を以下に示します。

- (1) パトロール等の日常管理（維持）の徹底と定期的な点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕の実施により、これまでの事後保全的な管理から予防保全的な管理へ転換することを基本とし、維持管理費用の縮減及び平準化し、橋梁の長寿命化を図ります。
- (2) 点検・修繕データの蓄積とそれらをフィードバックした修繕計画の策定によるPDCA（Plan（計画）－Do（実行）－Check&Act（評価・改善））サイクルの運用を通じて、より適切な維持管理体制を継続的に追究していきます。

	短期的	中・長期的
維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パトロール、維持対応等の日常管理を徹底する。</li> </ul>	
点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法定点検に基づき、定期点検を5年に1度実施する。</li> <li>■ 新技術を活用し、コスト縮減を図る。</li> </ul>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 点検結果を踏まえ、長寿命化修繕計画の見直しを行う。</li> <li>■ 新技術の活用方針を策定する。</li> </ul>	
修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現時点で著しい（管理水準を下回る）変状が生じている橋梁の対策を実施し、対象橋梁全体の健全性を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予防保全型を基本とした維持管理を行う。</li> <li>■ ただし、河川改修等の他事業との整合を考慮する。</li> <li>■ 修繕優先度（健全度と重要度から総合的に評価）に基づき、予算制約に応じた修繕を実施する。</li> </ul>
記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 橋梁に関するデータ（点検結果及び修繕履歴等）を一元管理することで、維持管理業務の効率化を図る。</li> </ul>	

図-6 全体方針

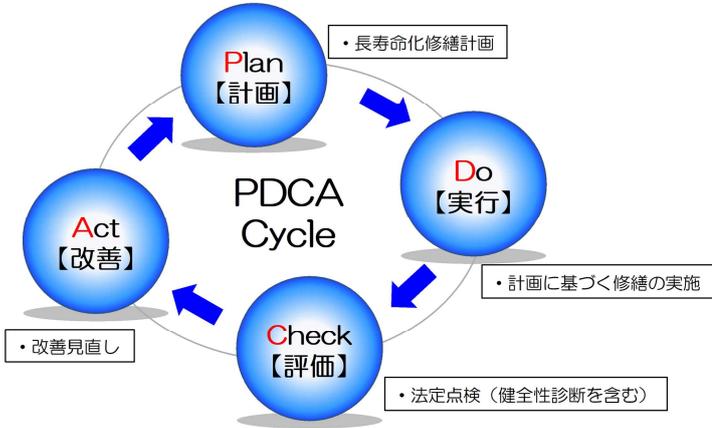


図-7 PDCAサイクル

## 4 長寿命化修繕計画に関する基本方針

全体方針を踏まえたうえで、以下の基本方針から成る長寿命化修繕計画に基づき、維持管理を実施していきます。

- (1) 予防保全を基本とした維持管理により老朽化した橋梁の健全度を良好に保ちます。
- (2) 新技術を活用し、点検及び修繕の高度化・効率化・費用縮減を図ります。
- (3) 事後保全型管理から予防保全型管理への転換や既設橋梁の集約・撤去等も含めた修繕方法の検討を行い、修繕費用の縮減を図ります。

### (1) 老朽化対策に関する基本方針

#### ア 維持管理方針

橋梁の維持管理においては、損傷がある程度進行した段階で修繕を行う事後保全型の管理を行うより、損傷が軽微な段階で修繕を行う予防保全型による管理の方が、橋梁の長寿命化、長期的なコスト縮減につながります。中野区では平成25年度に策定した長寿命化修繕計画を基に、橋梁毎の特徴に応じて維持管理方針を4つに分類し、めりはりのある維持管理を行ってきました。その結果、現在では橋梁の修繕が進み、多くの橋梁で健全度が良好な状態となっています。今後は架け替えを予定している橋梁を除くすべての橋梁で予防保全型管理を行い、常に健全な状態を保つ維持管理を行っていきます。

#### 【平成25年度修繕計画】



#### 【本計画】



図-8 維持管理方針の転換

表-3 橋梁の維持管理区分

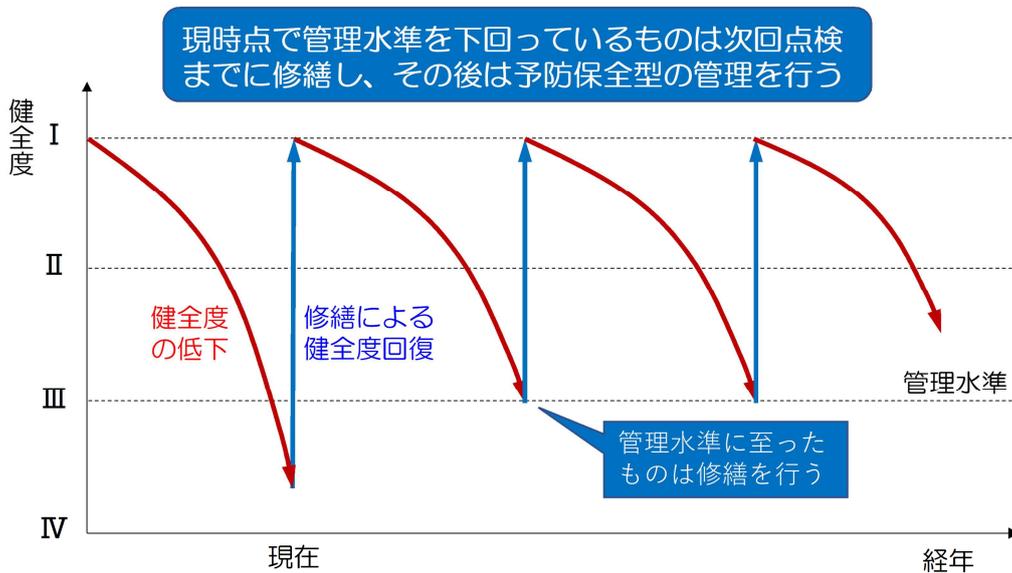
維持管理区分	内容	対象橋梁数
予防保全型	点検結果に基づき、損傷が軽微な段階で小規模な補修工事を短いサイクルで行うなど、橋梁が致命的な損傷を受ける前に適切な対策を実施し、常に健全度を高く保ちます。	99橋
事後保全型	河川改修等の計画があり、近いうちに架け替えが予定されている橋梁については、日常点検や定期点検等の経過観察や状況に応じた応急措置により安全性を維持した上で、最小限の維持管理に留めます。	5橋

## イ 管理水準

橋梁は経年に従い健全度が低下します。管理水準は道路ネットワーク上において橋梁に求められる機能を維持するために設定する管理の目標値であり、維持管理の際は健全度が管理水準を下回らないような対策を実施する必要があります。本計画では橋梁の定期点検における健全度判定区分を管理水準の指標とし、健全度の低下により健全度がⅢとなった橋梁については次回の橋梁点検（5年以内）までに修繕を行い、橋梁を常に健全な状態に保つように維持管理を行います。

表－4 管理水準の設定

維持管理区分	管理水準	備考
予防保全型	Ⅲ	健全度がⅢとなった場合、5年以内に対策を実施する。 (健全度Ⅲの対策が完了後、適宜健全度Ⅱの修繕も実施)



### 【健全度区分】

- Ⅰ 健全 : 構造物の機能に支障が生じていない状態
- Ⅱ 予防保全段階: 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- Ⅲ 早期措置段階: 早期に措置を講ずべき状態
- Ⅳ 緊急措置段階: 緊急に措置を講ずべき状態

図－9 管理水準に基づく維持管理イメージ

## (2) 新技術活用に関する基本方針

現在、老朽化した橋梁の点検及び修繕を効率的に実施するために、様々な新技術の開発が行われています。中野区においても点検及び修繕の高度化・効率化・費用縮減のため、新技術の活用を推進します。

### 【新技術活用の例】

中野駅北側に位置する東西連絡路は桁下面に桁カバーが設置されており、橋梁内部の点検が困難な状況でした。この橋梁において新技術である小型ドローンを活用し、橋梁内部の点検を行うことにより、桁カバーを外して従来通り点検した場合に比べて、作業日数、点検費用を大幅に縮減しました。

次回計画改定までに、新技術を活用した点検の効率化及びコスト縮減を目指します。



東西連絡路 桁カバー設置状況



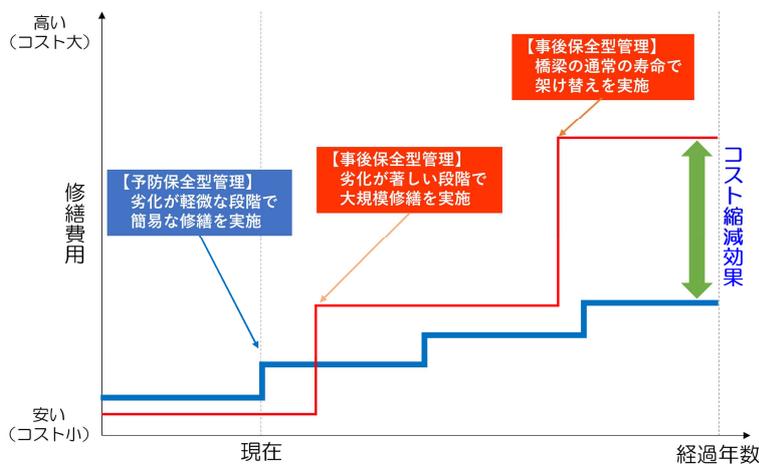
小型ドローンによる点検状況



## (3) 費用縮減に関する方針

### ア 事後保全から予防保全への転換

これまでの傷みが大きくなってから治すという事後保全的な維持管理から、傷みが軽微な段階で治すという予防保全的な維持管理へ体制を転換し、予防的なメンテナンスの充実によって、いまある橋梁をより大事に使うことで延命化し、コストの縮減（図-10）を図ることで、利用者の安全性・信頼性を確保します。



#### 【予防保全型】

劣化が軽微な段階でこまめに修繕するため、延命化が図れると同時に、1回あたりの修繕費用が抑えられることから、コスト縮減が期待できます。

#### 【事後保全型】

劣化が著しい段階で大規模な修繕を実施するため、1回あたりの修繕費用が高くなるとともに、一般的な橋梁の耐用年数に応じて架け替えが必要になります。

図-10 予防保全型管理の概念による延命化とコスト縮減のイメージ

## イ 予算の平準化

修繕が一時期に集中し、予算が不足した場合には、修繕優先度の高い構造物から修繕を実施するなど、修繕の時期を調整することで必要事業費を平準化し、持続的な事業推進を図ります。

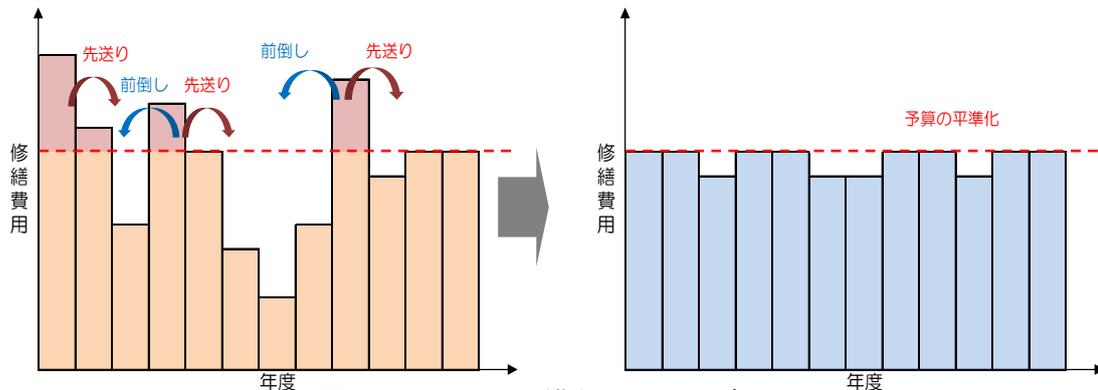
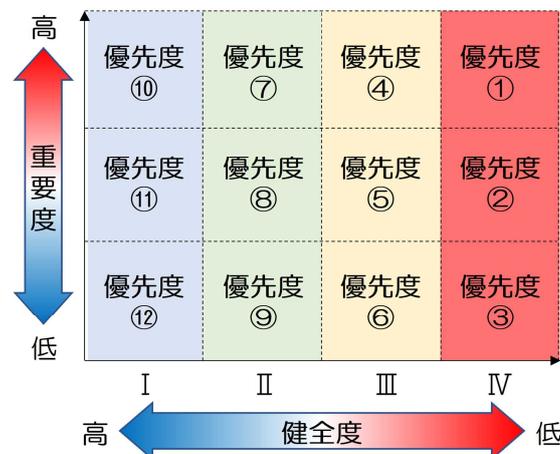


図-11 コスト平準化のイメージ

## ウ 対策優先度の設定

対策が一時期に集中することを避けるため、修繕の優先度を設定し、優先度に従って修繕を実施していきます。修繕優先度は、「道路橋定期点検要領、国土交通省 道路局、平成 31 年 2 月改定」で示される健全度の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）を基に設定し、健全度が低い橋梁から優先的に修繕を行います（Ⅳ⇒Ⅲ⇒Ⅱ⇒Ⅰ）。また、健全度の判定区分が同一の橋梁が複数ある場合には、同一判定区分内において、重要度が高い橋梁から優先的に修繕を行います（図-12）。



健全度：「道路橋定期点検要領、国土交通省 道路局、平成 31 年 2 月」に示される橋梁の健全度の指標

重要度：緊急時の道路ネットワークや公共交通への影響等を踏まえた橋梁の重要度

図-12 修繕優先度の考え方

## エ 集約・撤去による費用縮減の検討

今後の維持管理費用の縮減のため、「道路橋の集約・撤去事例集（国土交通省 道路局、令和 4 年 3 月公表）等を参照して、既設橋梁の集約・撤去の検討を行いました。しかしながら、中野区の管理橋梁の多くは市街地や住宅地に架設され、交通量も比較的多いことから、利用者への影響を踏まえると集約・撤去はなじまない結果となりました。

このため、本計画においては既設橋梁の集約・撤去は行いませんが、今後、利用状況が変化した場合などは、集約・撤去による費用縮減を検討していきます。

## 5 長寿命化修繕計画の効果

前述した基本方針に基づき、長寿命化修繕計画を策定しました。本計画に基づく維持管理を行った場合、従来の事後保全型管理を行った場合と比較して、今後50年間で必要になると想定される費用については、従来型の約125億円から約68億円となり、約57億円の縮減効果が期待できるものと試算しました。これは、予防保全型管理による計画的な修繕の実施により、橋梁の長寿命化を図ることで得られる効果です。

維持管理に関する全体方針に基づき、今後はPDCAサイクルの運用のなかで計画の見直しを行いながら、より効率的・効果的な維持管理を追究していきます。

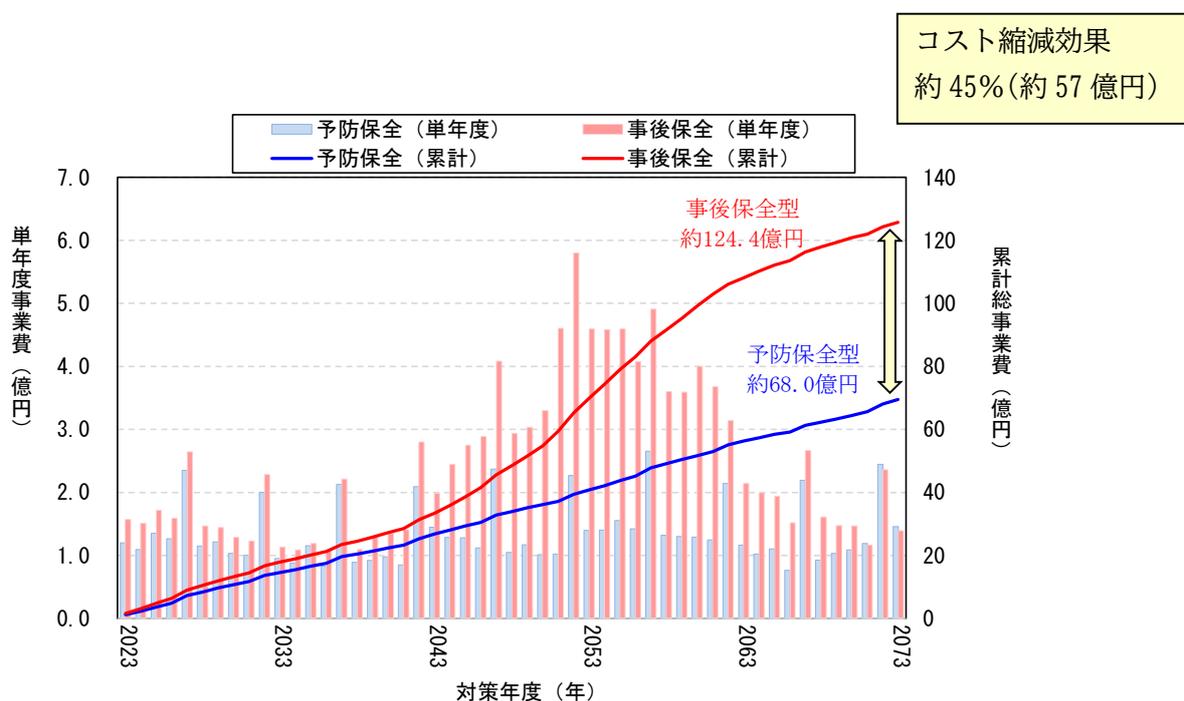


図-13 長寿命化修繕計画策定によるコスト削減効果

## 6 個別の構造物ごとの計画

対象の橋梁の個別の計画は表-5、表-6の通りです。

表-5 個別の実施計画①

橋梁名	路線名	架設年次 (年)	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の種類	所在地	点検結果		点検の時期 (次回)	補修予定内容 (主な措置予定内容)
							年度	判定区分		
曙橋	主幹7号	2004	10.10	10.80	PC橋	沼袋1-19	2022	I	2027	—
朝日橋	12-310号	1954	10.20	5.50	RC橋	弥生町-6	2022	II	2027	コンクリート補修
東橋	主幹8号	1978	9.90	11.60	PC橋	江原町1-25	2022	I	2027	—
菖蒲橋	15-70号	1999	16.00	8.80	PC橋	本町1-3	2022	I	2027	—
新井橋	31-430号	2010	10.90	8.80	PC橋	沼袋1-7	2022	I	2027	—
江古田憩い橋	34-1520号	2001	10.20	12.80	PC橋	江原町2-6	2022	I	2027	—
江古田橋	33-90号	1998	16.80	10.80	鋼橋	沼袋2-13	2022	I	2027	—
大北橋	33-540号	2000	10.30	9.30	PC橋	沼袋2-11	2022	I	2027	—
大下橋	33-50号	1994	11.00	10.80	PC橋	沼袋1-18	2022	I	2027	—
片山橋	32-1130号	1958	23.70	4.30	鋼橋	松が丘2-11	2022	I	2027	—
上町橋	23-120号	1960	6.80	3.80	PC橋	中央-45	2022	III	2027	コンクリート補修、表面保護工
上宮橋	23-60号	1960	6.80	5.50	PC橋	中央4-53	2022	I	2027	—
川北橋	主幹12号	1967	11.70	5.10	鋼橋	若宮2-1	2022	II	2027	コンクリート補修
川北橋人道橋	主幹12号	1980	11.20	2.00	鋼橋	大和町2-49	2022	II	2027	当板補修、コンクリート補修
神田橋	11-690号	1960	16.30	11.80	PC橋	南台5-27	2022	I	2027	—
桔梗橋	14-560号	2000	16.00	10.30	PC橋	本町2-6	2022	I	2027	—
北裏橋	23-210号	1959	6.90	4.80	PC橋	中央3-48	2022	I	2027	—
北畠橋	23-30号	1961	6.60	5.40	PC橋	中央4-60	2022	I	2027	—
金沢橋	23-201号	1958	7.10	2.40	PC橋	中央2-57	2022	I	2027	—
公園橋	21-20号	1962	6.60	3.00	PC橋	中央5-41	2022	I	2027	—
光明橋	12-320号	1954	10.20	5.50	RC橋	弥生町6-14	2022	II	2027	コンクリート補修、舗装打換え、伸縮装置交換、防護柵交換
御伊勢橋	23-70号	1960	6.80	4.80	PC橋	中央4-52	2022	I	2027	—
駒ヶ坂橋	12-290号	1949	10.60	8.70	鋼橋	弥生町6-5	2022	I	2027	—
小淀橋	25-90号	1959	11.00	3.50	PC橋	中央1-25	2022	II	2027	コンクリート補修、防護柵塗替塗装
金剛橋	23-400号	1957	6.40	5.40	BOX	中央2-37	2022	I	2027	—
鷺宮橋	主幹14号	1970	10.60	5.40	鋼橋	白鷺3-8	2022	I	2027	—
桜橋	14-460号	2000	14.80	10.30	PC橋	本町3-2	2022	I	2027	—
皐月橋	14-540号	2000	15.40	10.30	PC橋	本町2-7	2022	I	2027	—
東西連絡路	24-610号	2012	32.70	12.40	鋼橋	中野4-62	2022	I	2027	—
三谷橋	33-1010号	1966	11.90	4.70	鋼橋	野方2-5	2022	I	2027	—
慈眼堂橋	23-330号	1959	6.70	6.10	PC橋	中央2-11	2022	I	2027	—
下谷橋	42-510号	1968	11.10	5.60	鋼橋	若宮2-20	2022	I	2027	—
東雲橋	23-450号	1957	8.10	4.90	PC橋	中央2-22	2022	I	2027	—
下徳殿橋	主幹8号	1954	6.50	8.80	RC橋	江古田3-19	2022	II	2027	コンクリート補修、塗替塗装、支承金属溶射
下徳殿橋人道橋	主幹8号	1974	8.40	1.70	PC橋	江古田3-15	2022	I	2027	—
下の原橋	34-590号	1956	10.40	8.30	RC橋	江原町1-1	2022	I	2027	—
三味線橋	主幹4号	1960	6.60	11.50	PC橋	中央3-42	2022	I	2027	—
新栄橋	33-370号	1994	12.90	10.80	PC橋	沼袋1-6	2022	I	2027	—
新開橋	33-30号	1996	10.20	10.80	PC橋	沼袋1-15	2022	I	2027	—
新沼橋	33-310号	2001	10.50	7.90	PC橋	沼袋1-14	2022	I	2027	—
新道橋	主幹10号	2010	10.40	12.80	PC橋	沼袋3-1	2022	I	2027	—
新橋	主幹11号	2010	10.30	12.80	PC橋	野方3-1	2022	I	2027	—
水車橋	32-970号	1953	11.00	4.10	PC橋	上高田4-22	2022	I	2027	—
水車橋人道橋	32-970号	1990	11.00	2.40	PC橋	上高田4-23	2022	I	2027	—
関元橋	33-400号	1997	10.30	10.80	PC橋	沼袋1-5	2022	I	2027	—
双鷺橋	42-680号	1968	11.70	4.80	PC橋	若宮3-58	2022	II	2027	架替予定
第十五号橋	33-10号	2001	10.20	9.90	PC橋	沼袋1-15	2022	I	2027	—
大橋	34-570号	1962	8.90	5.40	PC橋	江古田1-27	2022	I	2027	—
太陽橋	42-250号	1967	11.50	4.70	PC橋	若宮1-3	2022	I	2027	—
高砂橋	12-160号	1932	12.50	5.50	RC橋	本町5-42	2022	I	2027	—

表-6 個別の実施計画②

橋梁名	路線名	架設年次 (年)	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の種類	所在地	点検結果		点検の時期 (次回)	補修予定内容 (主な措置予定内容)
							年度	判定区分		
田替橋	25-100号	1958	9.00	5.30	PC橋	中央1-13	2022	I	2027	—
宝橋	15-110号	1999	19.30	8.80	PC橋	本町1-4	2022	I	2027	—
竹橋	22-330号	1965	6.20	4.90	BOX	中野3-11	2022	II	2027	コンクリート補修、表面保護工
立田橋	25-40号	1962	8.80	4.50	PC橋	中央1-52	2022	I	2027	—
千歳橋	33-292号	2010	10.20	6.20	PC橋	沼袋3-15	2022	I	2027	—
千代田橋	14-200号	2015	14.70	10.70	PC橋	本町5-12	2022	I	2027	—
月見橋	14-510号	2000	14.80	10.30	PC橋	本町3-1	2022	I	2027	—
角田橋	11-190号	1959	9.50	5.60	鋼橋	南台35-26	2022	I	2027	—
天神橋	33-130号	2002	15.70	11.80	PC橋	松が丘2-35	2022	I	2027	—
戸井橋	主幹3号	1951	9.00	9.50	BOX	中央1-51	2022	I	2027	—
東郷橋	14-580号	2000	15.00	10.30	PC橋	本町2-5	2022	I	2027	—
塔ノ下橋	23-490号	1956	6.70	4.90	PC橋	中央2-21	2022	I	2027	—
鳥見橋	22-280号	1965	6.00	4.80	BOX	中野3-10	2022	I	2027	—
仲園橋	23-230号	1959	6.70	4.40	PC橋	中央3-14	2022	III	2027	コンクリート補修、舗装打換え、伸縮装置交換、表面保護工
中野新橋	主幹1号	2011	16.90	12.20	PC橋	本町5-1	2022	I	2027	—
中ノ橋	14-520号	2000	15.00	10.30	PC橋	本町2-8	2022	I	2027	—
西田橋	22-370号	1966	4.20	5.50	BOX	中野3-13	2022	I	2027	—
西原橋	主幹9号	1938	9.80	11.90	RC橋	江原町2-6	2022	I	2027	—
沼江橋	33-160号	1994	10.70	10.80	PC橋	沼袋2-1	2022	I	2027	—
箱堰橋	23-40号	1960	9.70	4.50	PC橋	中央4-44	2022	I	2027	—
橋場橋	23-20号	1965	10.20	5.00	PC橋	中央4-61	2022	II	2027	コンクリート補修、舗装打換え、伸縮装置交換、表面保護工
花見橋	14-500号	2000	15.40	11.70	PC橋	本町3-2	2022	I	2027	—
氷川橋	14-210号	2014	14.90	10.70	PC橋	本町5-11	2022	I	2027	—
富士見橋	主幹2号	1975	17.10	11.80	PC橋	弥生町5-24	2022	I	2027	—
不動橋	34-40号	1961	9.00	8.80	PC橋	江古田1-28	2022	I	2027	—
宝仙橋	23-470号	1957	7.00	4.20	PC橋	中央2-35	2022	II	2027	コンクリート補修、表面保護工
本多橋	34-670号	1957	7.00	5.80	RC橋	江原町2-5	2022	II	2027	コンクリート補修、支承補修
本村橋	34-110号	1961	9.80	6.00	PC橋	江古田1-26	2022	I	2027	—
美鳩橋	43-705号	1968	11.30	4.60	PC橋	若宮2-41	2022	I	2027	—
宮下橋	42-240号	1966	10.90	5.20	PC橋	若宮1-1	2022	I	2027	—
宮前橋	23-430号	1957	7.70	4.10	PC橋	中央2-23	2022	I	2027	—
向田橋	11-720号	1959	9.70	5.30	PC橋	南台5-28	2022	I	2027	—
薬師橋	33-320号	1995	10.30	12.80	PC橋	沼袋1-2	2022	I	2027	—
山下橋	33-50号	2002	10.10	10.80	PC橋	沼袋1-21	2022	I	2027	—
弥生橋	42-730号	2013	11.80	7.20	PC橋	若宮2-57	2022	I	2027	—
睦橋	25-80号	1966	9.30	3.40	鋼橋	中央11-25	2022	III	2027	塗替塗装、当板補修、コンクリート補修、舗装打換え、伸縮装置交換
鷺盛橋	42-750号	1969	11.20	5.10	鋼橋	若宮2-55	2022	I	2027	—
和田廣橋	12-270号	1932	11.30	5.50	RC橋	弥生町6-4	2022	I	2027	—
和田見橋	12-220号	1932	13.10	8.50	RC橋	弥生町5-8	2022	II	2027	コンクリート補修
和田見橋人道橋	12-220号	1987	13.00	2.40	PC橋	弥生町5-8	2022	II	2027	伸縮装置交換
柳橋	14-180号	2018	15.10	10.70	PC橋	本町5-26	2020	I	2025	—
オリーブ橋	41-810号	2000	12.40	9.30	鋼橋	若宮3-52	2020	II	2025	コンクリート補修、舗装打換え、伸縮装置交換
下鷺橋	主幹13号	1969	11.60	5.90	鋼橋	若宮2-60	2020	II	2025	架替予定
丸山橋	42-60号	1967	12.50	4.60	PC橋	若宮3-53	2012	-	2024	架替中
本郷橋	14-120号	1979	12.70	4.50	鋼橋	本町5-27	2017	II	2022	架替中
上の原跨線橋	24-450号	1966	22.00	2.40	鋼橋	東中野2-31	2021	I	2026	—
団桃園跨線橋	22-120号	1966	32.60	3.40	鋼橋	中野3-49	2021	II	2026	塗替塗装
東中野西口跨線橋	26-220号	2015	27.80	35.74	鋼橋	東中野1	2021	II	2026	舗装打換え、伸縮装置交換
鷺の橋	道路管理	1988	11.70	4.21	PC橋	白鷺2-49	2022	I	2027	—
舉月橋	道路管理	2000	13.50	4.80	PC橋	白鷺1-4	2022	I	2027	—
寿橋	道路管理	1992	12.20	4.82	鋼橋	大和町4-50	2022	I	2027	—
でんでん橋	道路管理	1970	11.90	1.90	鋼橋	大和町2-8	2022	I	2027	—
平和の森橋	道路管理	2010	10.10	4.00	鋼橋	新井3-37	2022	I	2027	—
宮満寿人道橋	道路管理	1980	11.30	4.50	PC橋	白鷺1-31	2017	II	2022	架替予定

## 7 区民の皆さまへのお願い

維持管理は、区民の皆さまのご理解とご協力によって、さらに効果的なものとなります。

- ◆ より迅速な対策のためにも、高欄・防護柵の破損等、**何らかの不具合を発見された際にはご連絡ください。**
- ◆ 路上へのごみの投棄は、車両走行の支障となるだけでなく、排水施設の詰まりを引き起こし、橋梁の劣化促進の原因となるため、**路上美化にご協力ください。**
- ◆ 橋梁等の施設への落書きは、景観を損ね、区のイメージ低下につながるため、**施設美化にご協力ください。**

## 8 学識経験者からの意見聴取

長寿命化修繕計画を策定するにあたって、以下の学識経験者にご協力いただきました。貴重なご意見、ご指導を頂きましたことを深く感謝申し上げます。

【ご協力いただいた学識経験者】

- 東京工業大学  
環境・社会理工学院 土木・環境工学系  
千々和 伸浩 准教授 (写真右)



【計画に関するお問い合わせ先】



中野区 都市基盤部 道路課 道路整備係

TEL：03-3228-5640

中野区役所ホームページ：<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>

中野区役所

検索